

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	神野一美	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	中西	東辻
	前田					

文化財名	坪内のイチヨウの巨樹					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1974年(昭和49)3月26日					
所在地	吉野郡天川村坪内来迎院境内					
所有者 管理者	来迎院門徒					
員数	1株					
時代区分						
樹木の場合	(樹木名) イチヨウ			(樹齢) 700年～800年		
案内板の状況	イチヨウの樹の前に奈良県の説明板が設置されている。					
公開	常に公開					
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	寺(来迎院)の境内にあり、管理も行き届いている。					
今後の課題	管理者があるため、特になし					
その他 (由緒など)	弘法大師お手植えと伝わるイチヨウの巨樹。樹高35m、幹回り6.81m、枝張り東西26.5m、南北30.5m「これほど樹勢のよい巨樹になったのも、寺社境内の信仰の地にあつて、切られずに残ってきたためと考えられる」と説明板にあり、寺および信徒の方の管理が十分なされていることがよくわかります。雌株としては県下最大と言われており、ギンナンがなっていました。					
コメント	国内のイチヨウでは、樹齢1200年～1300年の樹が確認されており、それを考えるとまだ500年以上は夏の青葉や、秋の黄色く色づいた落ち葉やギンナンなど、この樹が楽しませてくれると思われます。我々の子孫にも語り継がれるように、現在の樹勢を維持して行ってほしいと思います。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

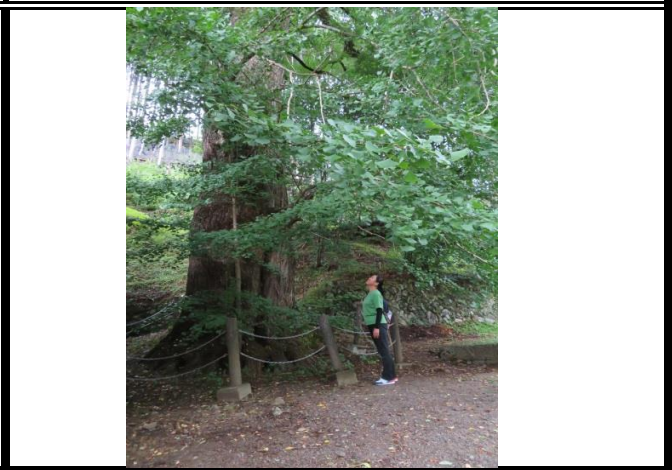
調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	神野一美	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	中西	東辻
	前田					

文化財名	坪内のイチヨウの巨樹
------	------------

説明板	天河神社の建物越しのイチヨウ
-----	----------------



根元の保護	巨樹の横に立つ
-------	---------



ギンナン	来迎院の本堂にかぶさるイチヨウ
------	-----------------

